

マイノリティの近現代と宗教

岡田 紅理子

Kuriko Okada

キリスト教文化研究所
講師／博士（地域研究）



研究業績データベース YouTube公式動画

キーワード

台湾／先住民族／キリスト教／植民地主義／ハンセン病問題

研究概要・実践活動

台湾先住民族の宗教実践に関心を持ってきました。日本植民地時代から、権利回復運動と都市定住化が進む現代までの生活世界に注目したフィールドワークを実施しています。そして、「アミ」と呼ばれるエスニック・グループがキリスト教という一神崇拝をいかに理解して入信し、その信仰をどのように継承しているのかを検討しています。数年前からは日本のハンセン病問題にかんする共同研究にも携わっています。患者のみならず家族をも社会から排除した国家的な終生絶対隔離政策における宗教者の責任、またハンセン病問題の普及・啓発のあり方について、回復者とその家族の歩みから探究しています。



研究・社会活動実績

著書に『道をむすぶ 時をたがやすー台湾原住民族アミ・カトリック信者の近現代誌ー』（春風社、2025年）、発表に「家族問題の啓発を推進させるために：岡山県・ノートルダム清心女子大学「自立力育成ゼミ」における取り組みからの検討」（ハンセン病市民学会第19回総会・交流集会、2025年）など。

産学官連携の可能性

台湾への修学旅行や国立ハンセン病療養所での研修などに向けた訪問先の情報、選定方法や事前学習の内容について、歴史、宗教、人権、多文化共生の観点からの助言が可能です。

日本文学とキリスト教

山根 道公

Michihiro Yamane

キリスト教文化研究所

教授／博士（文学）



研究業績データベース



YouTube公式動画

キーワード

キリスト教文学／インカルチュレーション／遠藤周作／井上洋治／八木重吉／芥川龍之介／マザーテレサ／渡辺和子

研究概要・実践活動

世界的キリスト教作家の遠藤周作を中心にキリスト教と関わる日本の作家が研究対象です。遠藤の生涯と文学をめぐっては『遠藤周作文学全集』の解題・年譜担当、『遠藤周作事典』の責任編集など担い、遠藤周作学会代表を務めています。遠藤に大きな影響を与えた母郁（笠岡出身で岡山高等女学校（現岡山操山高校）卒）について、また日本人とキリスト教という遠藤の生涯のテーマを共に担った同志の井上洋治神父（本学にも縁があり「井上洋治文庫」もあります）と共にこのテーマを探究し、井上神父がキリスト教の日本の文化内開花を目的に1986年に創設した「風（プネウマ）の家」運動を継承し、機関誌『風（プネウマ）』を発行しています。



研究・社会活動実績

スコセッシン監督「沈黙—サイレンス」を受けてNHK「こころの時代」「母なる神への旅～遠藤周作『沈黙』から50年～」・KTNフジテレビ系「小説『沈黙』の旅～遠藤周作と長崎～」に解説者として出演、2021年にはNHK「こころの時代」「2回シリーズ 遠藤周作没後25年 遺作『深い河』をたどる」で批評家の若松英輔との対談に出演。遠藤文学をテーマに日本および韓国、台湾等、国際学会などで講演。

産学官連携の可能性

岡山市の公民館からの要望を受けての講演「シスター渡辺和子先生の言葉に学ぶ—置かれた場所で咲く老いの安らぎ」や本学公開講座清心フェリーチェでの講演「Sr.渡辺和子と聖書を学ぶ」などの反響を受けて、岡山の地域に根ざすカトリック大学ならではの地域の人たちの心の豊かさを求める要望に応える活動の可能性を今後さらに探って行きます。